

< イベント情報 >

## タワーレコード フリーマガジン『musée』企画制作イベント第八弾

### intoxicate\_08 祭@SHIBUYA CLUB QUATTRO

2003年10月26日(日)に開催!!

~ 新しいステージでさらなる進化。クラムボン、Sembelloも登場 ~

タワーレコード株式会社(本社:東京都品川区/代表取締役社長:森脇明夫)では、2003年10月26日(日)に、同社フリーマガジン『musée(ミュゼ)』<sup>1</sup>の企画制作ライブ・イベント「intoxicate(イントキシケイト)」<sup>2</sup>の第8弾、“intoxicate\_08 祭@SHIBUYA CLUB QUATTRO”を渋谷クラブクアトロ<sup>3</sup>(ライブ・スペース、QUATTRO 4F・5F/渋谷)にて開催します。

2001年12月より、青山CAYにて7度の開催を数えた「intoxicate」。これまでは、テーマに沿ったキャスティングによるライブを、会場の装飾や、屋台を出すなどの空間演出と併せ行ってきました。今回は、12月26日(金)に開催を予定する「intoxicate\_09」とともに、より幅広いお客様に向けたスペシャル・バージョンとして、様々な嗜好の音楽をより自由な発想で楽しめるライブ・イベントとなるよう、さらに多彩な顔ぶれのキャスティングで行います。今後2回は、会場を、これまでの倍の収容人数となる、渋谷クラブクアトロに移し開催します。

今回の出演アーティストは、この秋にニュー・アルバムのリリースを控え、新たな方向性に挑むクラムボンをはじめ、デビュー・アルバムをリリースし勢いにのるSembello(沖祐市[東京スカパラダイスオーケストラ]&田中邦和によるデュオ・バンド)、<ROVO>や<渋谷知らず>などのバンドでプロデュース、ヴァイオリンを担当している勝井祐二と敏腕ドラマー外山明のデュオ、現代音楽という枠を越え、精力的な活動を展開する渋谷慶一郎(ATAK)が登場。様々なジャンルで活躍するアーティストの、枠にとらわれない競演が会場を盛り上げます。

新しいステージで、さらに進化を続ける「intoxicate」にご期待ください。

#### 1 『musée』(ミュゼ)

1996年創刊。隔月(奇数月20日)刊。現代音楽・クラシックを紹介するフリーペーパーとして出発する。当初から国内では紹介される機会のなかった分野の音楽情報を掲載し、若い評論家、若いリスナーから熱烈的な支持を受け、今日に至る。現在では音楽以外の情報(映画、本、伝統芸能など)に加え、ユニークな連載記事(俵孝太郎の“タワーで孝太郎”“四コマの鉄人 人コマゴマ”など)を掲載するなど、単なる情報誌という枠を超えて、読み物として楽しむ読者も多い。音楽を基本テーマとして、様々な話題を取り上げるという編集方針により、世代を超えた読者にアプローチしている。1999年にはECMというレーベルの30周年にあわせて、独自のイベントを企画、話題となりintoxicate開催へと続く。

#### 2 intoxicate(イントキシケイト)

イベントの総称は<intoxicate>イントキシケイトと読み、「...を酔わせる」「...を熱狂させる」という意味を持つ。タワーレコードのフリーマガジン『musée(ミュゼ)』のコンセプトをそのまま具現化し、2001年12月からスタートしたイベント。イベントに登場するアーティストや音楽についても、『musée(ミュゼ)』の編集方針に沿って、ジャンルやカテゴリー、有名無名にとらわれず、様々なキャスティング、セレクトを行なう。このイベントを通して、タワーレコードのユーザーに対し、既存の価値観では捉えにくい視点、既存の価値観では生まれにくい好奇心をかき立てる場を提供することにより、更なる音楽への興味・関心を促す。今後も更に発展させた形で年6回、隔月での開催を予定し、20代後半から40代後半をターゲットに、大胆な企画を行なっていく。

#### 3 渋谷クラブクアトロ

パルコが渋谷に4館目をたちあげた15年前に、スペイン語で“4”を指す“QUATTRO”をそのまま店名にオープン。当初より邦楽・洋楽を問わないブックイングで当時隆盛していたUKギター・バンドをいち早く紹介するかたわら、ブルースやレゲエ、ワールドミュージックといったジャンルレスのラインナップが目立つ。また名古屋、心斎橋、広島にもフランチャイズを持ち、ホールキャバに育っていった国内アーティストによる不定期なクアトロ・ツアーなども行われている。

## イベント詳細

名 称 : intoxicate\_08 祭@SHIBUYA CLUB QUATTRO

日 時 : 2003 年 10 月 26 日 ( 日 )

16 : 30 / オープン 17 : 30 / スタート

場 所 : 渋谷クラブクアトロ ( 東京都渋谷区宇田川町32-13 クアトロ・パルコ4F・5F )

出演アーティスト : ・勝井祐二+外山明DUO

・クラムボン

・渋谷慶一郎 ( ATAK )

・Sembello

上記アーティストのプロフィールは別紙 3 ページ目をご参照下さい。

チケット : 前売 : ¥3,300 ( 税込 ) 当日 : ¥3,800 ( 税込 ) <1ドリンク付き>

2003年9月13日 ( 土 ) より下記店舗およびプレイガイドにて発売。

・渋谷クラブクアトロ ( 03-3477-8750 )

・net-flyer ( <http://www.net-flyer.com/> )

・イープラス ( <http://eee.eplus.co.jp/> )

・チケットぴあ ( 03-5237-9999 ・ Pコード : 154-867 )

・ローソンチケット ( 03-5537-9999 ・ Lコード : 39174 )

・タワーレコード渋谷店

・タワーレコード新宿店

先行予約 : 9/6 ( 土 ) ~ 9/8 ( 月 ) クアトロ・ホームページ ( <http://www.net-flyer.com/> )

お問合せ : クラブクアトロ 03-3477-8750 ( <http://www.net-flyer.com/> )

企画・制作 : タワーレコード株式会社 ミュゼ編集部

協 賛 : 株式会社コルグ / パール楽器製造株式会社

『musée ( ミュゼ ) 』特設サイト : <http://musee.tower.jp/>

## お問い合わせ

タワーレコード ( 株 ) マーケティング本部 PRコミュニケーション 木田暁子 伊早坂恵美 真野剛彦

TEL : 03-3496-5009 FAX : 03-3496-5022

E-mail : [press@tower.co.jp](mailto:press@tower.co.jp) <http://www.towerrecords.co.jp/>

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-21-1 日本生命渋谷ビル9F

別紙：アーティスト プロフィール artist profile

## 勝井祐二

ヴァイオリニスト。

レーベル、まぼろしの世界を鬼怒無月と共に主宰。現在、<ROVO> <DEMI SEMI QUAYER> <BONDAGE FRUIT> <渋さ知らズ> <カルメンマキandサラマンドラ> <PERU-FURU>等のバンドでプロデュース、ヴァイオリンを担当。UA、yae等、シンガーのサポートも務める。ソロ・アルバム『Katsui yuji violin solo』を8月23日にリリース。

MABOROSHI NO SEKAI <http://www.asahi-net.or.jp/~uz6t-kti/>

## クラムボン

原田郁子（ヴォーカル/キーボード）、ミト（ベース）、伊藤大助（ドラムス）。98年にインディーよりミニ・アルバム『くじらむぼん』をリリース。99年3月にシングル“はなれ ばなれ”でメジャー・デビュー、同年10月にはファースト・アルバム『JP』を発表。その後、『まぢわび まぢさび』『ドラマチック』『id』とオリジナル・アルバムをリリース。また、他のアーティストとのセッションも精力的にこなしており、これまでにテイ・トウワ、HUSKING BEE、ASA-CHANG&巡礼、YUKI、スネオヘアー、ハナレグミ、小泉今日子などのレコーディングに参加している。クラムボン初となるライブ作品『clammbon id tour 2003.1.26 shibuya』がDVDで好評発売中。11月には待望のニュー・アルバムを発表する予定。

<http://www.clammbon.com/>

## 渋谷慶一郎

音楽家。

02年レーベルATAKを設立、「ATAK001 slipped disk」をリリース。今年に入り、「ATAK002 keiichiro shibuya + yuji takahashi」と世界中のサウンド・アーティストによるイラク攻撃に対する抗議のコンピレーション「60 sound artists protest the war」を発表した他、ACOのニュー・アルバムironyでプロデュースを行う。年末には初のソロ・アルバム、「ATAK000 keiichiro shibuya」のリリースが決定している。

<http://atak.jp/>

Sembello 沖祐市（key）：東京スカパラダイスオーケストラ&田中邦和（sax）

2000年の夏、『JUSTA NIGHT』イベントでのデュオ・セッションをきっかけとして、沖祐市、田中邦和の二人により結成されたデュオバンド。結成当初はジャズ、ルーツミュージックの薫りを存分にただよわせていたが、次第にそのスタイルは変化そして進化し、Sembelloのインプロビゼーション的な要素を存分に加え心暖まる、ポップでありながら独特な音楽的世界を築いてきている。8/6にファースト・デビュー・アルバム『Sembello』をリリース。

## 外山明

1962年1月15日横浜に生まれる。16歳・ドラムを始める。22歳・ヤマハEAST WEST'84でグランプリ受賞。24歳・この頃から様々なセッションに参加。その後キューバ、西アフリカを始め多くの国を旅し、音色とリズムの幅を広げる。近年は単身ギニアに渡り、ギニア国立舞踊団のバラフォニストに手ほどきを受ける。現在は外山・大饑見DUO、ラクダカルテット、BOZO、松風絃一カルテット他で活動中。